

2月11日(月) 「第6回 国際問題を考える日」に本校生が参加

「国際問題を考える日」は、主催が兵庫県教育委員会、大阪大学、WHO神戸センターで「高校生のグローバルな社会課題やビジネス課題への関心を高め、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を図る」ことなどを目的として開催されています。

六甲アイランドの神戸ファッションマートで開催されました。

県内の大阪大学連携校や県内・近畿地区のSGH指定校、アソシエイト校等が参加しており、SGH指定校である兵庫高校がとりまとめの窓口になっています。

本校2年生の河村燿平君、矢倉舞さん、川原聡希君が神高ゼミで研究した「平成狸狐合戦こんぼこ〜チャレンジ！民俗学に統計を〜」をポスター発表しました。

当日のプログラム

午前 ・基調講演

「MDGsからSDGsへー「だれひとり取り残さない」持続的開発のための世界的取り組みの目的と課題」

大阪大学副学長・人間科学研究科教授 栗本英世氏

・パネルディスカッション テーマ「SDGsの実現に向けて」

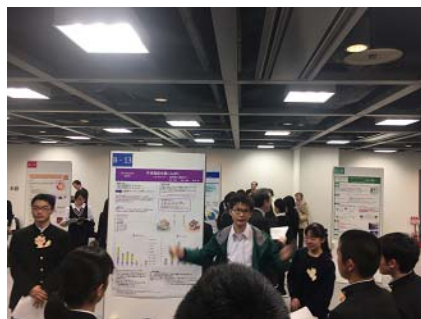
コーディネーター WHO神戸センター上級顧問官 野崎慎仁郎氏

パネリスト 高校生4名

午後 ・ポスターセッション



基調講演の様子



「平成狸狐合戦こんぼこ〜チャレンジ！民俗学に統計を〜」
(本校2年生の河村燿平君、矢倉舞さん、川原聡希君)



500人近い県内外の高校生や先生方が参加する中、堂々と発表し、質問にもしっかりと答えています。

準備は大変だったと思いますが、貴重な経験になったと思います。おつかれ様でした。